

活動中間ビジュアル報告

活動団体名 小野崎団地 ローズマリーの会

活動テーマ 住民ボランティア組織が行う県営住宅団地の環境美化活動

<助成活動対象に至った理由>

毎年団地自治会のメンバーが入れ替わりその場限りの活動から変化できず団地の祭りも無くなり、住民の交流の場も無くなりつつある。否応なしに高齢化の波は押し寄せ、独居老人、シングルマザー、外国人居住者も増えてきて交流の場(交流サロン)づくりが急がれます。

① 団地の設計思想である塀の無い地域に開かれたオープンコンセプトを住民が理解して綺麗に手入れされ花が飾られて美しい団地だと自慢して住めるようにローズマリーの会はお手伝いをします。多くの住民が会に参加できる道筋を付けたいと思います。

② 市民活動(ボランティア)活動に対する誤解をなくしたい。全体清掃の時は罰則が有るのでいやいや参加している雰囲気がある。その延長線上でボランティア活動も同一視され何でわざわざボランティアでやるのかと思われる。理解に時間が掛かると思うが改善されると期待したいです。

③ 地域との境にあるオープンな市道と側にベンチを配置して、地域交流の場づくりしていきます。

④ 団地内の外にテーブルなど置いて住民が交流できる場を作りたいと思います。

<9月までの活動進捗状況>

7月に団地住民に向けて臨時の情報誌を全戸配布

ハウジングアンドコミュニティ財団の助成金の対象団体選ばれた事を報告

助成金で何をやるのかをカラーの写真などで丁寧にお知らせ、これからやる活動への理解を求めた(オフセットフルカラー印刷A-3二つ折り 実物資料を添付)

7月~8月芝刈り、草刈りを実施



長雨の影響で外での活動が制限され、予定していた外に設置する備品の購入などが9月になった
画像は購入してテーブルなどを会員で組み立てた時の様子



桜並木の下でお花見しながら交流の場作り



団地の中心の広場に交流サロンを演出



プランターを中心にスチールイスを設置
10月以降に花のボランティアを募集



左側の市道に面して木製ベンチを設置
オープンな開かれた団地を演出

<今後の活動予定>

- ① プランターに花を植えて面倒をみるボランティアを住民から募集し環境美化への関心を持ってもらう
- ② テーブル、ベンチ、イス、プランター設置状況を情報誌で住民に告知。ローズマリーの会の会員を募集する。
- ③ 来年2月開催予定の小野崎アパートメント展の開催準備。県を巻き込む